7267479 ﾃﾏﾅｼKRﾄﾘﾂｹｾｯﾁ
取付設置説明書

キッチンくるりん排水口

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。

1．取付けの前に

安全上のご注意

●取付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
●ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●取付完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

注意 …「取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠ …「注意しなさい!」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。
（禁止） …「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）
（分解禁止） …「分解してはいけません!」
（指示） …「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注 意

（禁止）	**給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。** ※機器が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。
（禁止）	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
（禁止）	**水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。** ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。
（禁止）	**シャフト部分に磁石を使用しています。心臓ペースメーカーなどの電子医療機器にシャフトを近づけないでください。安全性の確認については電子医療機器の取扱説明書をご覧ください。**
（分解禁止）	**修理技術者以外の人は機器を分解したり、修理したりしないでください。** ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。
（指示）	**お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。** **水抜方法は、取扱説明書を参照ください。** ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
（指示）	**ヤケドの恐れがないところまで水圧変動を押さえた配管設備にしてください。** ※他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。

本製品の仕様と使用条件

使用最高温度	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)
使用環境温度	【一般地用】 0～40℃ 【寒冷地用】 −20～40℃		但し、内部の水を凍結させないでください。
圧力条件	0.07MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧) 給水圧力≧給湯圧力		

※1：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

ガス給湯器（比例制御式:24号 60℃設定）と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A＋0.1MPa(流動圧) ※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。 最低必要圧力は組み合わせる水栓により異なります。 詳細は水栓金具の施工説明書をご確認ください。
最高圧力	0.75MPa(静水圧)

測定条件は次の通りです。
●レバーハンドルは全開。
●給水温度5℃、吐出温度42℃（ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬期を想定）。
●給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。
●ガス給湯器の設定温度は最高温度です。

貯湯式給湯器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	0.07MPa(流動圧)
最高圧力	0.75MPa(静水圧)

●給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。

その他の条件
●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20～0.34MPa)に減圧してください。
●給湯に蒸気は使用できません。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。

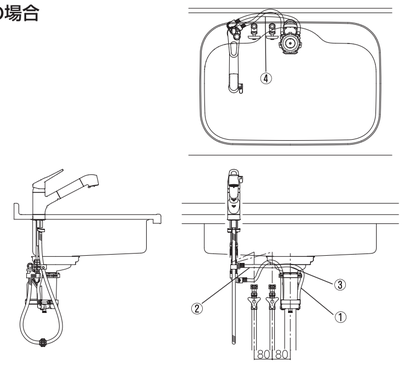
取付け前のご注意

止水栓と点検口を設けてください。
●取付け後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
●使い勝手や性能発揮のために**流量調節をしてください。**特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

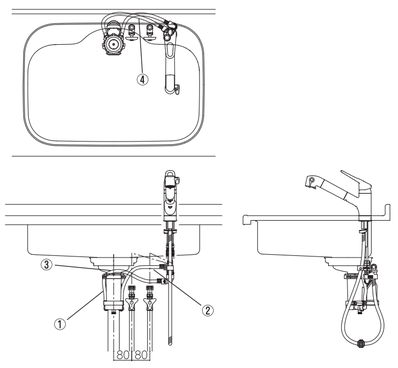
その他の注意点
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
●必ず**配管中の異物を完全に洗い流してください。**
●水栓は必ずくるりん排水口に対応したものであることを確認してください。

取付完了図

左水栓の場合



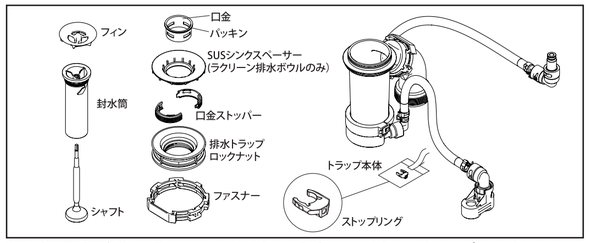
右水栓の場合



ホース取り回し時のポイント
①IN側・OUT側ホースはトラップ本体から上向きに配置する。
②IN側・OUT側ホースは接続する水栓側に配置する。
③水栓から遠い側のホースは排水エルボの上側を通す。
④IN側・OUT側ホースは水栓の給水・給湯ホース、シャワーホースの後ろ側を通す。

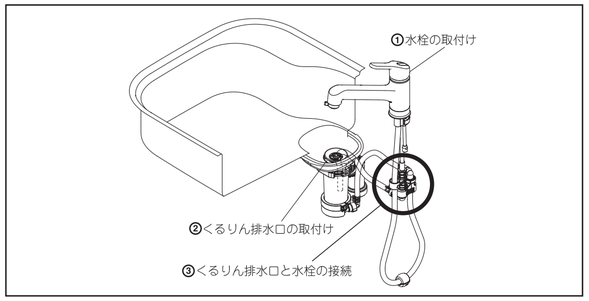
株式会社 LIXIL
●商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客様相談センターへ
ナビダイヤル TEL 0570-090-521
受付時間 平日 9:00～18:00
土日・祝日 9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

部品の確認



※取付設置説明書のイラストはラクリーンシンク用です。キレイシンク、センターポケットシンク、ラウンドシンクも取付手順は同様ですが、ＳＵＳシンク用スペーサーは使用しません。

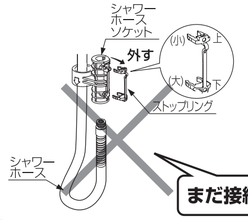
取付手順



2．取付け方法

① 水栓の取付け

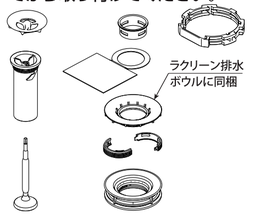
水栓の施工説明書をよく読み、シンクに水栓を取り付ける。



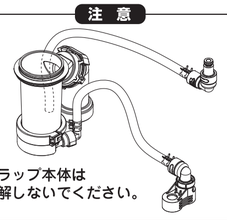
注 意
シャワーホースソケットとシャワーホースの接続は行わないでください。
※後工程でキッチンくるりんの接続を行います。

② くるりん排水口の取付け

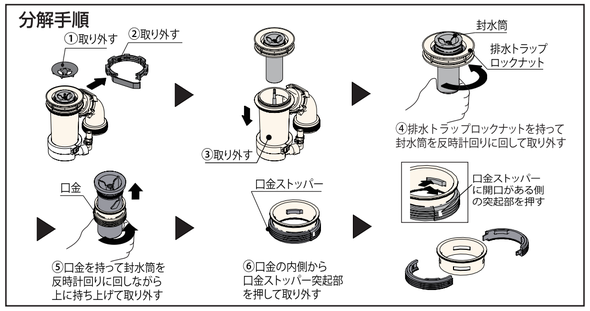
トラップがセットになって納入されますので、図のように部品を分解してから取り付けてください。



注 意



分解手順

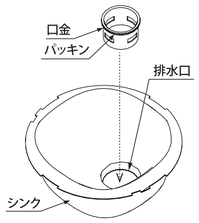


1. 注意タグを取り外す。

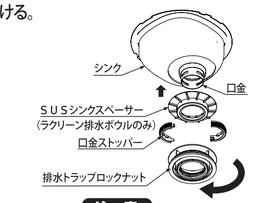
注 意
パッキンが口金のフランジ部分に当たるよう取り付けてください。
パッキンがよじれていないか、確実に取り付いていることを確認してください。
※漏水の原因になります。

注 意
注意タグは使用しないので取り外してください。

2. 口金をシンクの排水口に取り付ける。

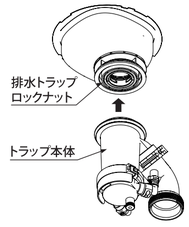


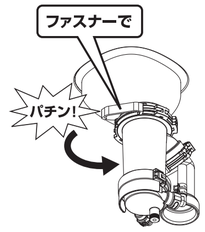
3. 口金にシンクの下側からSUSシンクスペーサー（ラクリーン排水ボウルのみ取付け）を通し、口金の開口部に口金ストッパーを差し込む。次に、排水トラップロックナットを手で確実に締め付ける。



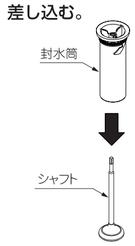
注 意
排水トラップロックナットの締付けは口金を手で押さえながら手締めで確実に行ってください。
※漏水の原因になります。

4. 排水トラップロックナットにトラップ本体を差し込み、ファスナーでロックする。





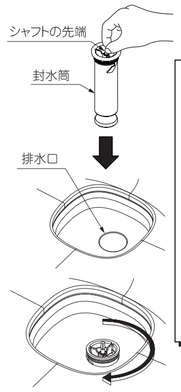
5. 封水筒にシャフトを差し込む。



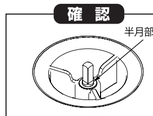
確 認

●シャフトの先端が封水筒の真ん中から出ていること。

6. シャフトの先端を持ち、封水筒と一緒に排水口部分からトラップ本体に差し込み、封水筒を回しながらロックする。

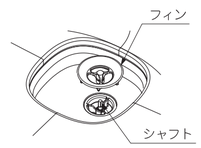


確 認

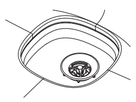


●封水筒が確実にロックしていること。
●**シャフトの先端部（半月部分）が封水筒面から出ていること。**
（出ていない場合は、排水トラップロックナットの締付け不足ですので増締めしてください。）

7. シャフトの先端にフィンを取り付ける。



確 認

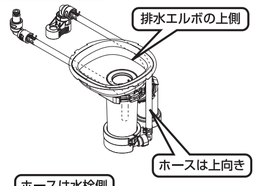


シャフトがフィンの奥までささっていること。

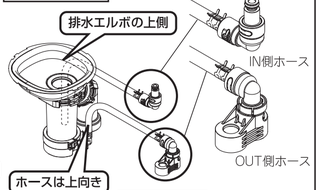
③ くるりん排水口と水栓の接続

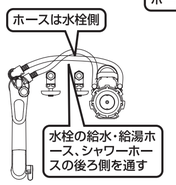
ホースの取回し

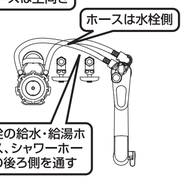
左水栓の場合



右水栓の場合







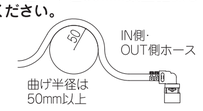
注 意

- ●IN側・OUT側ホースはトラップ本体から上向きに配置してください。
- ●IN側・OUT側ホースは接続する水栓側に配置してください。
- ●水栓から遠い側のホースは排水エルボの上側を通してください。
- ●IN側・OUT側ホースは水栓の給水・給湯ホース、シャワーホースの後ろ側を通してください。

※正しく取り付けないと引き出しやシャワーホースと干渉したり漏水の原因になります。

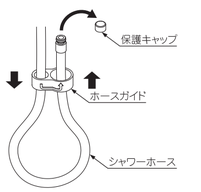
注 意

IN側・OUT側ホースを曲げる場合は、曲げ半径50mm以上確保してください。

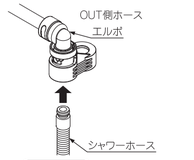


水栓がナビッシュの場合

1. シャワーホースをホースガイドに通し、保護キャップを外す。



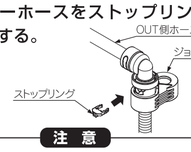
2. シャワーホースをOUT側ホースのエルボに差し込む。



ポイント

シャワーホースは奥まで差し込む。

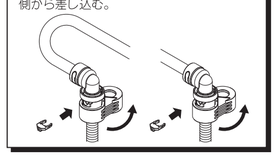
3. シャワーホースをストップリングで固定する。



注 意

ジョイントを回転させ、開口部からエルボにクリップリングを差し込む。

- ●左水栓の場合　ホースを曲げて手前側から差し込む。
- ●右水栓の場合　手前側から差し込む。

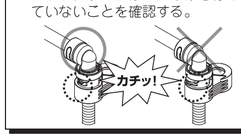


注 意

エルボを手で持ち、ホースを挿入した後、ストップリングをしっかりとはめ込む。（ストップリングが外れると漏水の原因となります。）

※カチッと音がするまで差し込む。

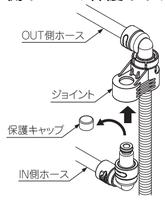
※ストップリングがエルボからはみ出ていないことを確認する。



確 認

シャワーホースを引っ張っても抜けないこと。

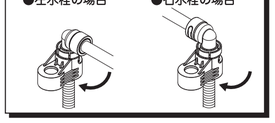
4. IN側ホースの保護キャップを外し、OUT側ホースのジョイントに通す。



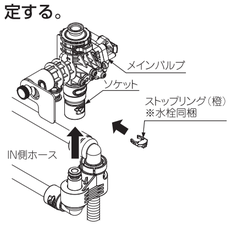
注 意

ジョイントを回転させ、取付け部を手前に向ける。

- ●左水栓の場合
- ●右水栓の場合



5. メインバルブのソケットにIN側ホースを差し込み、ストップリングで固定する。

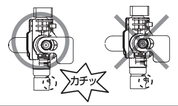


ポイント

ソケットを手で持ち、ホースを挿入した後、ストップリングをしっかりとはめ込んでください。（ストップリングが外れると漏水の原因になります。）

※カチッと音がするまで差し込む。

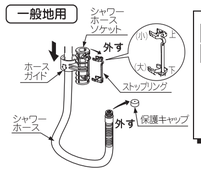
※ストップリングがエルボからはみ出ていないことを確認してください。



6. 水栓の施工説明書に戻りメインバルブを吐出管に接続してください。以後の取付け工程は水栓の施工説明書に従って行い、施工後の調整、引渡し前の確認を行ってください。ただし 流量の調整はキッチンくるりんの取付設置説明書に従ってください。

水栓がナビッシュ以外の場合

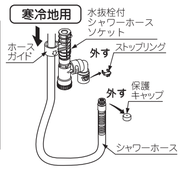
1. シャワーホースソケットのストップリングを外し、シャワーホースをホースガイドに通す。



注 意

ストップリングを紛失しないように注意してください。

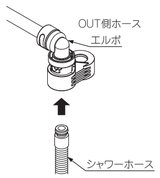
※シャワーホースが固定できず、漏水の原因となります。



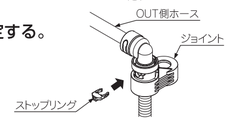
2. シャワーホースをOUT側ホースのエルボに差し込む。

ポイント

シャワーホースは奥まで差し込む。



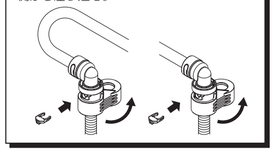
3. シャワーホースをストップリングで固定する。



注 意

ジョイントを回転させ、開口部からエルボにクリップリングを差し込む。

- ●左水栓の場合　ホースを曲げて手前側から差し込む。
- ●右水栓の場合　手前側から差し込む。

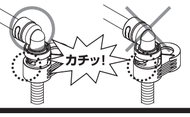


注 意

エルボを手で持ち、ホースを挿入した後、ストップリングをしっかりとはめ込む。（ストップリングが外れると漏水の原因となります。）

※カチッと音がするまで差し込む。

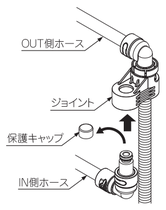
※ストップリングがエルボからはみ出ていないことを確認する。



確 認

シャワーホースを引っ張っても抜けないこと。

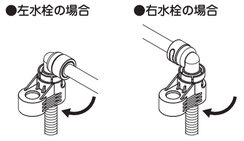
4. IN側ホースの保護キャップを外し、OUT側ホースのジョイントに通す。



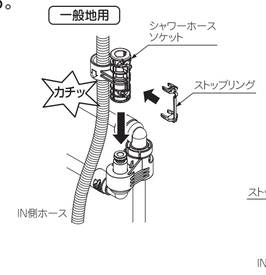
注 意

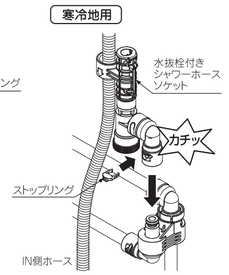
ジョイントを回転させ、取付け部を手前に向ける。

- ●左水栓の場合
- ●右水栓の場合



5. IN側ホースにシャワーホースソケットを差し込み、ストップリングで固定する。





注 意

ストップリングは、しっかりとはめ込んでください。

※ストップリングが外れると漏水の原因となります。

ポイント

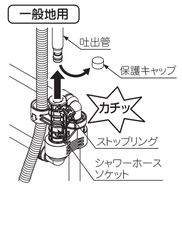
シャワーホースを引っ張っても抜けないこと。

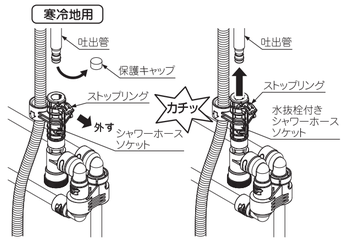
ポイント

一般地用の場合、ストップリング（大）をシャワーホースソケットに差し込んだ後、ストップリング（小）をシャワーホースソケットの溝部に設置させておく。

※カウンター下で「吐出管とシャワーホースソケットの接続」が容易になります。

6. 吐出管に、シャワーホースソケットを差し込み、ストップリングで固定する。

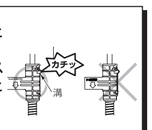




注 意

- ●カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- ●ストップリングがシャワーホースソケットの溝に納まっていることを確認してください。

※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。

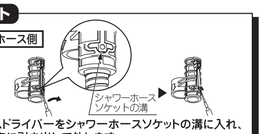


確 認

シャワーホースソケットを引っ張って、抜けないこと。

ポイント

ストップリングの外し方



7. 水栓の施工説明書に戻りストッパーを取り付けてください。以後の取付け工程は水栓の施工説明書に従って行い、施工後の調整、引渡し前の確認を行ってください。ただし 流量の調整はくるりん排水口の取付設置説明書に従ってください。

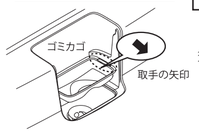
3. 取付け後の調整

1 ゴミカゴの設置

ゴミカゴは取手部分の矢印がシンク手前側を向くように設置してください。

ラクリーンシンクの場合

キレイシンクの場合



センターポケット
ラウンドシンクの場合

2 流量の調整

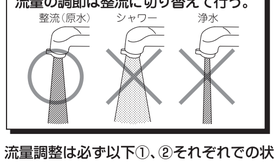
くるりん排水口は水栓の水流を利用してフィンを回転させています。吐水流量が多すぎるとフィンがうまく回転しません。

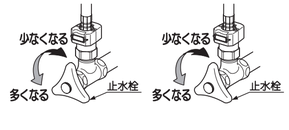
水栓の切り替えレバーを整流にしてレバーを全開にしたときに、シンク排水口でフィンが勢いよく回り続けるように止水栓で流量を調整してください。流量調整の目安は6L/min（※）以下です。

（※：1リットルの容器をいっぱいにするのに約10秒）

ポイント

流量の調節は整流に切り替えて行う。





流量調整は必ず以下①、②それぞれでの状態で行ってください。

① レバーハンドルが水側いっぱい

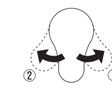
② レバーハンドルが湯側いっぱい

※水栓からの吐水は10秒以上行ってフィンが回り続けることを確認してください。

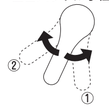
※レバーハンドルが湯水の中央の場合は流量が増えるためフィンが回転しないことがあります。（故障ではありません）

※湯水の流量は同じになるように調整してください。

ナビッシュの場合



エコハンドル水栓の場合



4. 引渡前の確認

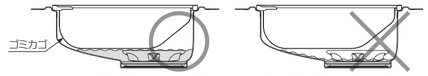
引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

現　象	点 検 内 容	点検箇所	処　置	参照項目
吐水をしてもフィンが回転しない（回転が遅い）	圧力は十分か?	–	圧力条件を確認する。	取付の前に「本製品の仕様と条件」
	流量調整はよいか?	–	止水栓を適正流量に調整する。	取付後の調整「流量調整」
	フィン・シャフト・封水筒は正しく取り付けられているか?	①②③	正しく取り付ける。	くるりん排水口の取付け「フィン・シャフト・封水筒の取付け」
	フィン・シャフト・封水筒に異物の噛み込みはないか?	①②③	異物を取り除く。	
	トラップ底部への異物堆積はないか?	④	堆積物をおし流す。	取扱説明書
異音がする	流量調整はよいか?	–	止水栓を適正流量に調整する。	取付後の調整「流量調整」
	フィン・シャフト・封水筒は正しく取り付けられているか?	①②③	正しく取り付ける。	くるりん排水口の取付け「フィン・シャフト・封水筒の取付け」
	フィン・シャフト・封水筒に異物の噛み込みはないか?	①②③	異物を取り除く。	取付後の調整「流量調整」
	トラップ底部への異物堆積はないか?	④	堆積物をおし流す。	取扱説明書
流量が少ない	圧力は十分か?	–	圧力条件を確認する。	取付の前に「本製品の仕様と条件」
	止水栓は十分開いているか?	–	止水栓を十分開く。	
ホースがスムーズに収納できない	シンク内でホースがねじれたり、配管と干渉していないか?	–	ねじれおよび干渉していないか確認する。	水栓の施工説明書

回転数（水位上昇）の目安

水栓からの吐水流量が3L/min（※）になるようレバーを開けたとき、フィン上面まで水位があがる状態が正しい回転数の目安です。

（※：1リットルの容器をいっぱいにするのに約20秒）



ポイント

ゴミカゴは必ず設置して確認する。分かりにくい場合はゴミカゴをはずして確認してください。

故障ではありません

吐水流量が多い場合（またはフィン・シャフトに無理な力がかかった場合）

- ●フィンが回転しないことがありますが、安全のためシャフトが空回りするためで故障ではありません。
- ●フィンが回転せず、音や振動が出ることがありますがシャフトが空回りをする音で故障ではありません。

※吐水水量が多い場合は止水栓で流量調整を行ってください。

吐水流量が少ない場合（または浄水を吐水する場合）

- ●吐水流量が少ない場合や浄水を吐水する場合、フィンが回転しなかったり回転が遅いことがありますが故障ではありません。

注 意

取付け後は、水抜栓が閉じている（いっぱいに回っている）ことを確認してください。

※開いた状態のままだと、漏水の原因になります。